

項目	内容
名称	フェルラ酸 [英]Ferulic acid、4-hydroxy-3-methoxycinnamic acid [学名]-
概要	フェルラ酸は、イネ科植物の細胞壁に多く含まれているポリフェノールで、既存添加物（酸化防止剤）としての使用が認められている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェルラ酸 (3-(4-Hydroxy-3-methoxyphenyl)-2-propenoicacid) : 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul> <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存添加物 : 酸化防止剤</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ トウモロコシ糠には3.1%のフェルラ酸が含まれる ( <a href="#">PMID:16185284</a> )。分子量 194.19。
分析法	・ HPLC-UV (検出波長300 nm) により分析されている ( <a href="#">PMID:15467248</a> )。
有効性	
ヒトでの評価	調べた文献に見当たらない。
の循環器・呼吸器で評価	調べた文献に見当たらない。
の消化系・肝臓で評価	調べた文献に見当たらない。
の糖尿病・内分泌で評価	調べた文献に見当たらない。

生殖・泌尿器	調べた文献に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献に見当たらない。
発育・成長	調べた文献に見当たらない。
肥満	調べた文献に見当たらない。
その他	調べた文献に見当たらない。

参考文献	<p>(2001065140) 東京都立衛生研究所研究年報. 2000;(50):311-3.  (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)  (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  (101) 調査研究報告書「既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究」(平成21年3月) 主任研究者 井上達  <a href="#">(PMID:16185284) J Invest Dermatol. 2005;125(4):826-32.</a>  <a href="#">(PMID:15970368) Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2005;29(6):901-7.</a>  <a href="#">(PMID:17420591) Biosci Biotechnol Biochem. 2007;71(4):1063-8.</a>  <a href="#">(PMID:19502723) Biosci Biotechnol Biochem. 2009;73(6):1392-7.</a>  <a href="#">(PMID:6502467) 薬学雑誌. 1984;104(7):793-7.</a>  <a href="#">(PMID:20669956) J Agric Food Chem. 2010 Aug 25;58(16):9273-80.</a>  <a href="#">(PMID:17433521) Toxicology. 2007 Jun 3;235(1-2):83-91.</a>  <a href="#">(PMID:18795822) Zoolog Sci. 2008 Aug;25(8):854-860.</a></p>
------	--